令和３年度
事業概要

～石川の礎を築く～

国土交通省　北陸地方整備局
金沢河川国道事務所

地域づくりの目標

北陸地方は、厳しい自然条件と向き合い、この地で培われた独自の技術・文化とともに、安全で安心な地域を形成し発展してきました。この魅力ある居住環境をさらに充実させ、住む人々の満足感を高め、優れた環境を国内外に発信することによって、多くの人々を北陸地方にひきつけ、交流人口や経済交流の拡大に繋げるとともに、それぞれの地域が持つ資源を活かし、新たな交流機会を地域づくりの推進力として魅力ある地域づくりに取り組み、その個性ある地域が連携した北陸地方を目指します。

目　次

地域づくりの目標 …… 2

安全・安心

気候変動を踏まえた水害対策　～流域治水への転換～ …… 4
流域治水プロジェクト　～手取川での取り組み～ …… 4
流域治水プロジェクト　～梯川での取り組み～ …… 5
流域治水プロジェクト　～砂防での取り組み～ …… 6
流域治水プロジェクト　～石川海岸における事業～ …… 7
流域治水プロジェクト　～河川管理施設やダムの維持管理 …… 8
大雨が降っても… …… 9
日々の生活を支える道路管理 …… 10
道路長寿命化への取組み …… 11
大雪が降ったら… …… 12
TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊） …… 13

活力・成長力

地域の交流・連携の基盤となる道路ネットワーク …… 14
能登と三大都市圏（東京・大阪・名古屋）を結ぶ …… 14
金沢都市圏の環状道路ネットワークの構築 …… 15
幹線道路の防災課題の解決 …… 15
能登、金沢、加賀地域の道づくり …… 16

暮らし・環境

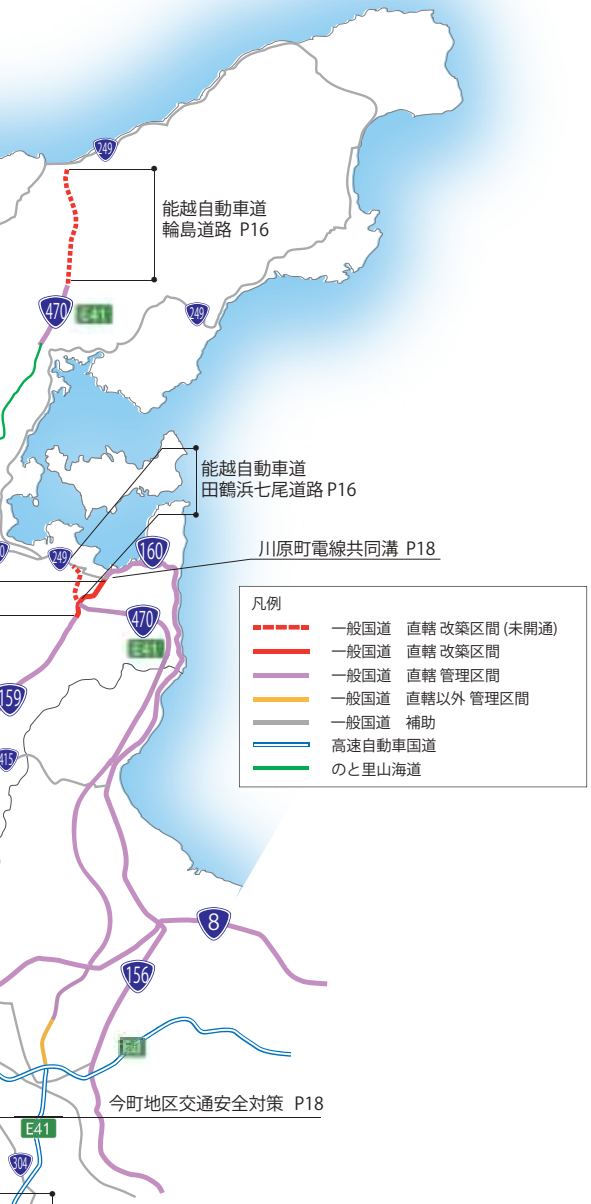
安全・安心な道路をめざして－交通安全対策・無電柱化－ …… 18
「道の駅」 …… 19
自転車利用環境の整備 …… 19
水辺環境づくり …… 20
インフラツーリズム（梯川分水路） …… 20
梯川手づくり学習館　洪水対応のお仕事体験コーナーを新設 …… 20
VSP（ボランティア・サポート・プログラム） …… 21
協力団体制度（河川・海岸・道路） …… 21
現場見学会 …… 21
白山砂防女性特派員 …… 21

データベース

略史 …… 22
金沢河川国道事務所管理及び整備区間一覧 …… 23

表紙の写真

1. 法面対策工事（七尾市）
2. 市ノ瀬砂防堰堤（白山市）
3. 梯川分水路（小松市）
4. 能越自動車道 輪島道路（輪島市）
5. 除雪作業（穴水町）
6. 道の駅「めぐみ白山」（白山市）
7. 道路協力団体によるライトアップ（金沢市）
8. 手取川ダム（白山市）
9. 石川海岸（砂浜）保全施設（白山市徳光地先）

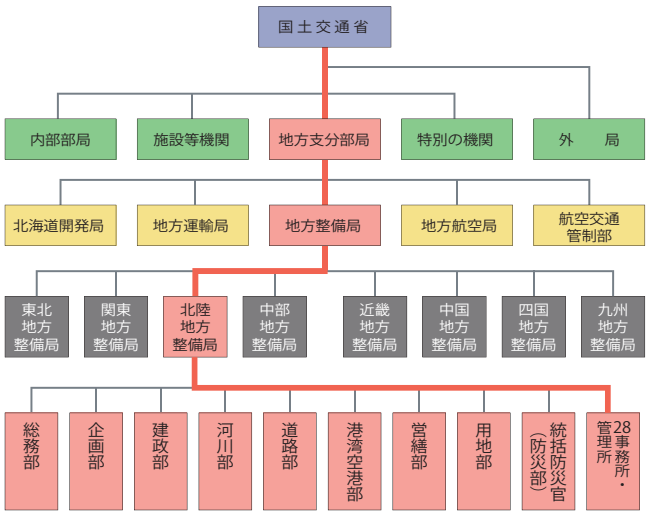


桜町電線共同溝　P18
桜町～賢坂辻電線共同溝　P18
博労町～武蔵交差点改良　P18
尾張町電線共同溝　P18
野町自転車歩行者道整備　P18
野々市交差点事故対策　P18
二日市交差点事故対策　P18

砂防堰堤補強対策
（手取川水系尾添川　中ノ川第１号砂防堰堤）P6

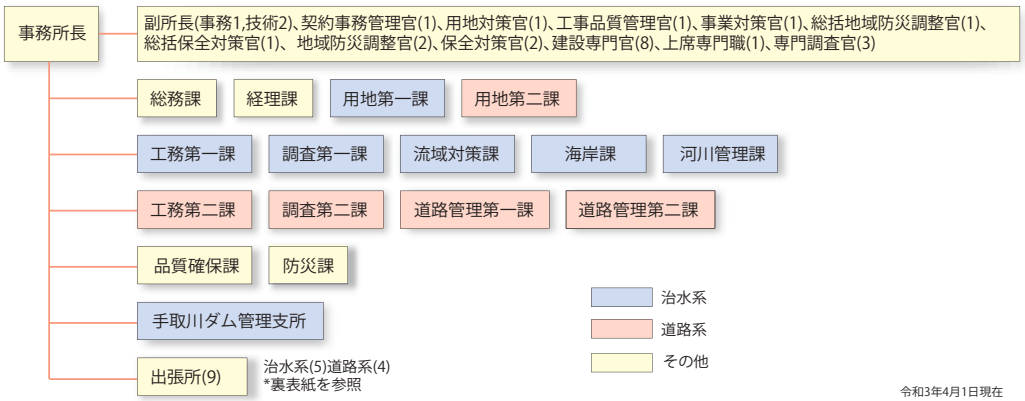
甚之助谷地区地すべり対策事業　P6

赤岩砂防堰堤群改築　P6



石川県内の北陸地方整備局事務所	
金沢河川国道事務所	石川県内の直轄管理区間・区域の治水(河川・砂防・海岸・ダム管理)、道路の新設、改良及び維持管理
金沢営繕事務所	石川・富山県内の国の官庁施設の整備と保全
金沢港湾・空港整備事務所	金沢港、七尾湾、輪島港、小松空港の整備事業

【金沢河川国道事務所の組織】
所掌する各事業に的確に対応するため、15課、1支所、9出張所体制で業務を行っています。



令和3年4月1日現在

安全・安心

気候変動を踏まえた水害対策　～流域治水への転換～

流域治水とは

河川、下水道、砂防、海岸等の管理者が主体となって行う治水対策に加え、集水域と河川区域のみならず、氾濫域も含めて一つの流域として捉え、その流域の関係者全員が協働して、①氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策、②被害対象を減少させるための対策、③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策、を総合的かつ多層的に取り組みます。

①氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
流域全体で「ためる」対策、「ながす」対策、「氾濫水を減らす」対策、「浸水範囲を限定する」対策を組み合わせ、整備を加速化。氾濫が発生したとしても氾濫水を少なくするために、堤防の決壊を防ぐ取組を推進します。

②被害対象を減少させるための対策
流域全体で「水災害リスクがより低い区域への誘導・住まい方の工夫」、「浸水範囲の限定」、「氾濫水を減らす」対策を組み合わせ、対策を加速化。氾濫が発生しても、二線堤などにより、浸水の拡大を防ぎ、被害を最小限に抑えます。

③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
流域全体で「避難」、「経済被害軽減」、「早期復旧・復興」の対策を組み合わせ、被害を最小化させます。

手取川では、戦後最大の昭和 36 年 9 月洪水と同規模の洪水を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図るとともに、侵食による堤防決壊を防ぐための急流河川対策を実施します。
梯川では戦後最大の昭和 34 年台風 7 号と同規模の洪水を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図ります。詳しくは下記 URL をご参照下さい。

手取川・梯川水系流域治水協議会 https://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/chisui/ryuiki_pro/index.html

流域治水プロジェクト　～手取川での取り組み～

令和3年度の事業計画

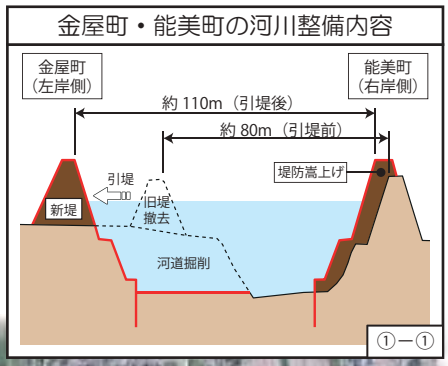
手取川では、能美市三ツ口地区の根継護岸と白山市湊地区の既設堤防川側に前腹付盛土を行い、洪水時における堤防の質的強化 (急流河川対策) を図ります。また、白山市湊地区の流下能力向上のための川の掘削が完了したことから、石川県と連携して西川と熊田川の合流点処理に着手し、令和 3 年度は用地取得を行います。

流域治水プロジェクト　～梯川での取り組み～

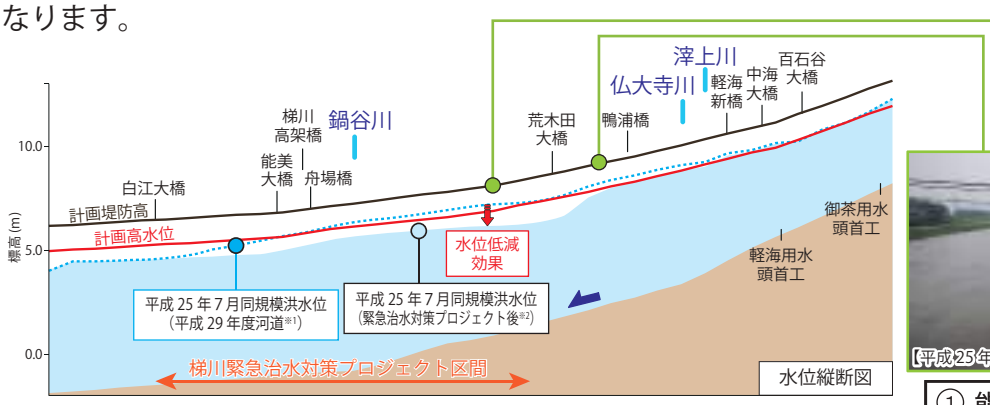
水の郷こまつ梯川緊急治水プロジェクト

梯川は、昭和 46 年の一級河川指定以降、大規模な河道拡幅（引堤）や河道掘削を進めており、平成 29 年度までに河口から白江大橋までの引堤が完了しています。

近年、全国的に大規模水害が発生しており、梯川においても治水安全度の向上は、早急に対処すべき課題となっています。このため、特に洪水時の水位上昇が著しい白江大橋（河口から約 6km）から荒木田大橋（河口から約 9km）までの一連区間について「水の郷こまつ梯川緊急治水対策プロジェクト」と位置づけ、重点的に河川改修を実施しています。



白江大橋から荒木田大橋までの河川改修により、観測史上最高水位を記録した平成 25 年 7 月と同規模の洪水が発生しても、安全に流下させることができるようになります。

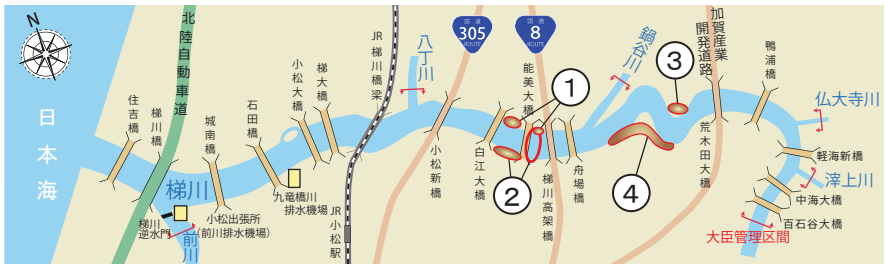


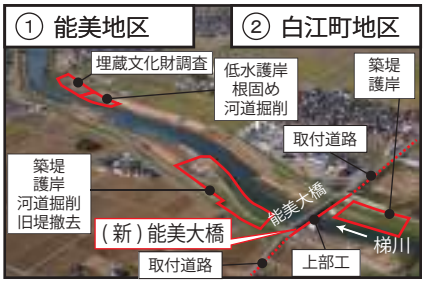
※1　平成 29 年度河道は、白江大橋までの整備が完了したときの計算水位を示しています。
※2　梯川緊急治水対策プロジェクト区間が完了したときの計算水位を示しています。

令和3年度の事業計画

白江大橋より上流において、川幅を広げるための築堤工事や護岸工事、河道掘削、樋管工事、用地取得などを行います。

また、昨年度に引き続き、能美大橋の架替え工事を推進します。





流域治水プロジェクト　～砂防での取り組み～

手取川上流域では下流域や沿川集落を土砂災害から守り、また、手取川ダムの土砂堆積を抑制するため、砂防・地すべり対策を実施しています。

①中ノ川第１号砂防堰堤改築工事

損傷した砂防堰堤の補修、嵩上げによる土砂捕捉能力の強化を行います

②赤岩砂防堰堤改築工事

天然ダム対策としてスリット形式による土砂捕捉能力の強化を行います

③市ノ瀬砂防堰堤改築工事

アンカー工法を用いた砂防堰堤の安定性の向上を行います

④柳谷中流砂防堰堤工事

土石流対策として砂防堰堤を整備します

⑤甚之助谷地すべり対策 排水トンネル工事

平成 28 年９月に排水トンネルが貫通

地すべり対策として集水ボーリング、排水トンネル工事等を促進します

流域治水プロジェクト　～石川海岸における事業～

令和3年度の事業

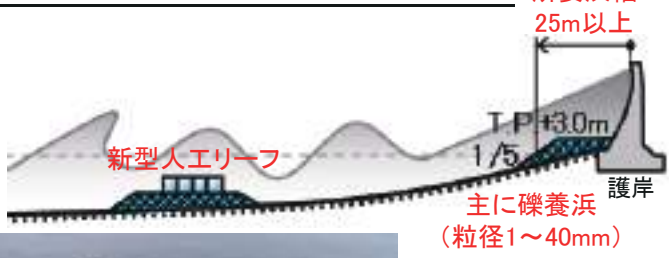
石川海岸では、海岸侵食や風浪による越波災害を防止するため、沖合施設の整備事業と砂浜の回復事業の推進を図ります。

小松工区の整備

小松工区安宅新町および草野町地先において、従来の人工リーフに比べ優れた消波効果、水位上昇量の低減およびコスト縮減を図った新型人工リーフを設置します。

また、防護・環境・継続安全に関してバランスのとれた養浜を推進することで、波の打ち上げ高を軽減させ、砂浜の侵食を防止します。

新型人工リーフの実態効果を反映した養浜計画



新型人工リーフ施工状況

養浜材投入状況

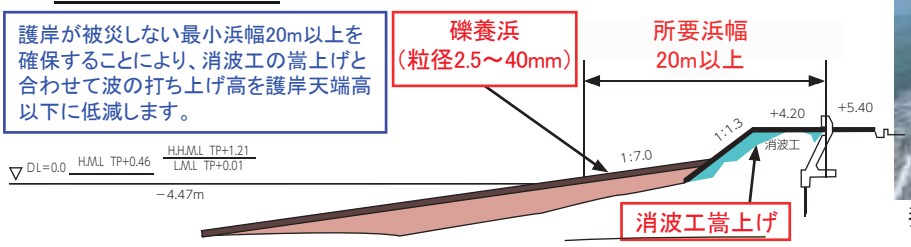
令和3年度の施工箇所

片山津工区の整備

片山津工区篠原町から塩浜町地先は、越前海岸国定公園内に位置し、沖合の岩礁域を利用した漁業が盛んなことから、景観と利用に配慮した養浜工事を実施します。

令和3年度の施工箇所

侵食区間の対策



養浜材投入・敷き均し状況

消波ブロック据付完了

河川管理施設やダムの維持管理

治水・利水のかなめ－手取川ダム－

手取川ダムは、手取川河口から約40km上流にある日本でも最大級の「ロックフィルダム」です。

「洪水調節」と「都市用水（水道・工業）の確保」、「発電」のための多目的ダムです。

手取川ダムの役割

下流域を水害から守る 治水

大雨の時には手取川ダムで一時的に水を溜めることで下流域への洪水量を減らす調整を行い、下流域での水害を軽減させます。

石川県民の暮らしを支える”水がめ” 利水

手取川ダムの水は、金沢市を中心に北は七尾市から南は加賀市まで９市４町に水道水として供給されています。

また、水の落差と水量を有効に利用し、電気を作る水力発電をダム下流約1.5㎞に設置された手取川第一発電所で行っています。最大出力は250,000kWとなっています。

大切なダムの役割を守るために

地域にとって大切な役割を持つ手取川ダムですが、いざという時にこの役割を果たせないと大変です。
このため、普段からしっかり、メンテナンスや管理を行っています。

取水施設の定期点検

日常から河川管理施設の点検をしています

大雨の時に、河川堤防が決壊したり、樋管などのゲートが閉まらないと大変です。

このため、普段から河川巡視や河川施設の点検等を行い、いざという時に機能するように努めています。

許可工作物の合同点検

職員・委託巡視員による河川巡視

野生動物から堤防を守るために

梯川では、野生動物の穴掘りによる堤防の損傷が近年増加しています。このため、河川巡視に加えて、夜間も撮影可能な赤外線センサーカメラによる監視や痕跡などから堤防損傷の原因となった動物を特定しています。

原因の動物に応じた対策を検討し、堤防の維持管理を実施しています。

キツネの巣穴による堤防の損傷

イノシシの掘り返しによる堤防の損傷

原因特定のための赤外線センサーカメラの設置

赤外線センサーカメラに写ったキツネ

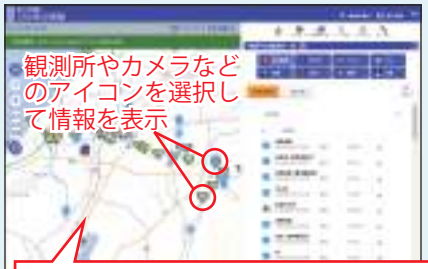
ブロック張りによる堤防法面の強化

大雨が降っても…

川の防災情報 https://www.river.go.jp/

国土交通省が運営する防災ポータルサイトです。気象・河川・土砂災害等を１画面でまとめて確認できます。XRAIN（レーダ雨量）、気象警報・注意報、河川CCTVカメラ、川の水位情報、浸水の危険が高まっている河川、洪水予報等の情報が掲載されています。

自宅や職場などの場所（最大３箇所）や確認が必要な観測所などを登録し、トップ画面や地図画面などをカスタマイズして、必要な情報を速やかに確認できます。



河川水位、洪水予報の発表状況、レーダー雨量、河川カメラ画像などのリアルタイム情報や、浸水想定区域図などのリスク情報を１つの地図で表示できます。

浸水ナビ https://suiboumap.gsi.go.jp/

自宅などの調べたい地点を指定することで、『どの河川が氾濫した場合に浸水するか』『どれくらいの時間で氾濫水が到達するか』『どれくらいの時間、浸水した状態が継続するか』等の浸水リスクを調べることができます。

わがまちハザードマップ https://disaportal.gsi.go.jp/hazardmap/

全国の地方公共団体のハザードマップを閲覧できるリンク集です。全国のハザードマップを調べることや、ハザードマップの種別ごとに検索することができます。

SNSによる情報提供

SNSで手取川と梯川の洪水時における水位情報や河川に関するイベントなどの情報を発信しています。是非ご覧ください。

金沢河川国道事務所 河川情報室 Twitter

パソコンや携帯電話からは、Web ブラウザで「金沢河川国道事務所 河川情報室」で検索してください。

金沢河川国道事務所 河川情報室 検索

お持ちの携帯電話では、下記の二次元コードから「金沢河川国道事務所 河川情報室」を見ることができます。

https://twitter.com/KanazawaBousai1

手取川、梯川等大規模氾濫に関する減災対策協議会

平成27年9月に発生した関東・東北豪雨により大規模な浸水被害が発生したことを踏まえ、手取川及び梯川流域において氾濫が発生することを前提として社会全体で常に洪水に備える「水防災意識社会」を再構築することを目的として、河川管理者、県、市町村等が連携協力して、減災のための目標を共有し、ハード対策とソフト対策を一体的・計画的に推進するために、「手取川、梯川等大規模氾濫に関する減災対策協議会」を平成28年5月より開催しています。

日々の生活を支える道路管理

道路の維持管理計画(案)

道路を維持管理する上で必要なパトロール（落下物処理や道路異常の早期発見、補修等を実施)、清掃、除草、剪定等の作業は、「金沢河川国道事務所道路の維持管理計画（案）」に沿って計画的に行っています。

作業内容	作業頻度
パトロール	・原則 ２日に１回
路面清掃	・原則 年間６回以内（人口集中地区）
	・原則 年間１回以内（上記以外）
歩道清掃	・原則 落葉等の除去に限定して実施
排水構造物清掃	・原則 年間１回を目安
除草	・原則 年間１回を目安
剪定	・高木、中低木原則３年に1回程度
	・寄植 原則１年に１回程度

パトロールで発見した
落下物の回収

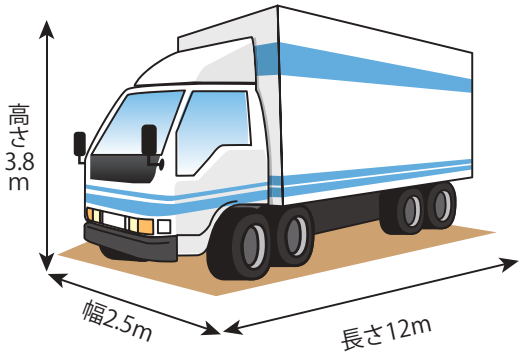
路面清掃車による清掃

道路管理者の承認が必要な工事

・自動車乗入のために行う歩道の切下工事。
・宅地造成等に伴う道路法面の切取り、埋立工事及び出入路の工事。
・都市計画、又は土地区画整理法等に基づく道路の拡幅、取付工事。

特殊車両

・車両制限令に規定されている大きさや重さを1つでも超える車両を「特殊車両」といいます。
・特殊車両の通行は、道路管理者の通行許可を受けなければなりません。



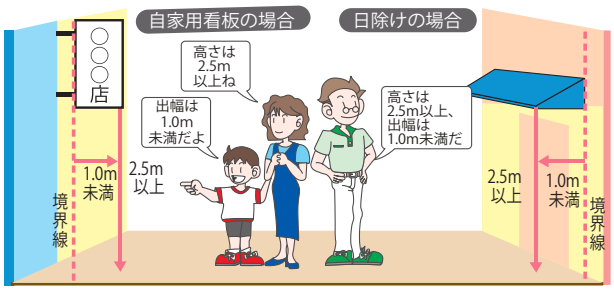
総重量20t(25t※)
※高速自動車道、指定道路においては、
軸距の長さに応じ最大25 t

道路占用

道路は国民の共有財産です。道路上（上空含む）を特定の人が継続使用する場合は、申請し許可を受ける必要があります。また、物件によってはお金がかかるものもあります。土地を借りた場合の借地料と同じです。

●許可できないものの一例
立看板、広告板、商品置場、のぼり旗、貼紙等

●許可できるものの一例
突出看板、日除け、投光器、工事用足場等

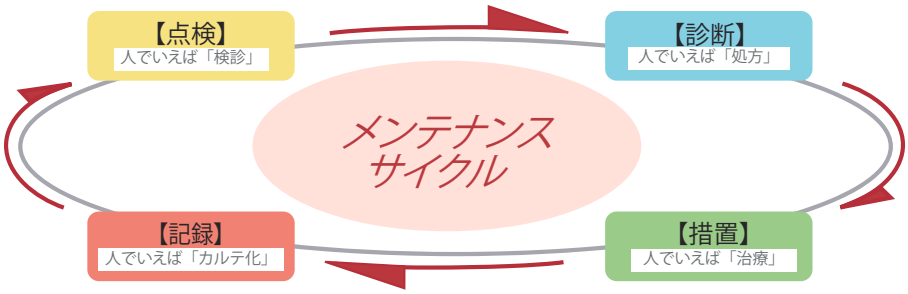


道路緊急ダイヤル（#9910）

・道路緊急ダイヤル（＃9910）は、全国共通24時間受付無料です。
・道路利用者が幹線道路の異状等を発見した場合に直接道路管理者に緊急通報し、それを受けた道路管理者は迅速に道路異状への対応を図ることによって、安全を確保します。
・緊急通報の対象となる道路の異状
道路の穴ぼこ、路肩崩壊等の道路損傷、落下物や路面の汚れ等

道路長寿命化への取組み

道路を安全に利用し続けるために、橋梁やトンネル等の道路構造物については、「点検⇒診断⇒措置⇒記録」というメンテナンスサイクルに基づく適切な維持管理を実施していきます。



道路の安全性を点検

橋梁・トンネル等の点検・診断を行います。

橋梁点検

トンネル点検

附属物点検

防災点検(法面等)

計画的な道路補修

道路施設の点検・診断の結果、安全性に問題が認められた施設については、補修等の対策を行い、各施設の長寿命化に努めます。

国道8号犀川橋(下り)　塗装の塗替

国道8号二日市跨線橋(上り)　伸縮装置交換

定期的な点検と補修により、高齢でも現役の橋梁があります

国道157号犀川大橋　今年で97歳

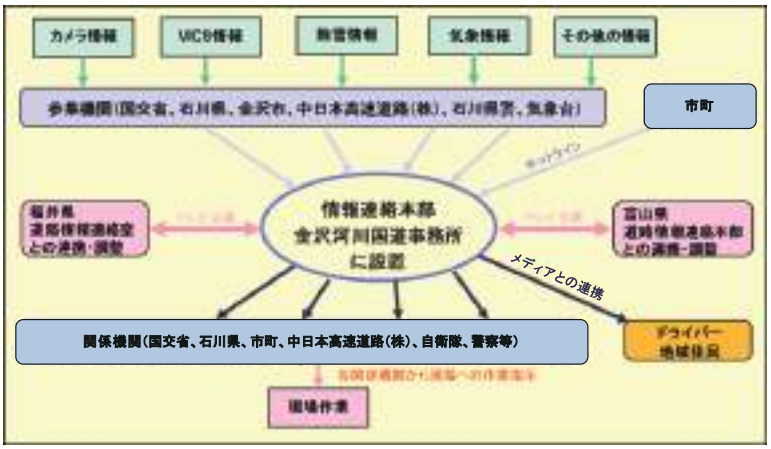
国道159号浅野川大橋　今年で99歳

大雪が降ったら…

関係機関との連携「情報連絡本部」

大雪警報や異常降雪が予想される時には関係機関（国、県、警察等）が集まり「情報連絡本部」を開設します。

各機関が持つ情報を一元化し、共有することで除雪作業等の連絡調整、ドライバーへの迅速な情報提供を行います。



情報連絡本部の設置(金沢河川国道事務所内)
(令和3年1月)

国道8号 熊坂交差点
予防的措置の交通案内状況(令和3年1月)

ホームページによる情報提供「みちナビ石川」

冬季の道路情報（ライブ画像）はホームページ「みちナビ石川」で情報提供をしています。他の道路管理者及び関係機関とのリンクを行っています。

クリックするとライブ画像で道路状況が確認できます

「みちナビ石川」
https://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/douro/michinavi/index.html
冬期間は国土交通省の一部カメラにおいて静止画の連続再生ができます。

二次元コードから「みちナビ石川」を見ることができます。 みちナビ石川

SNSによる情報提供

ツイッターで金沢河川国道事務所管内の道路状況を発信しています。

「国土交通省 金沢河川国道事務所 道路情報室」
https://twitter.com/KanazawaBousai

金沢河川国道事務所 道路情報室 Twitter

二次元コードから「国土交通省 金沢河川国道事務所 道路情報室」のツイートを見ることができます。 国土交通省 金沢河川国道事務所 道路情報室

除雪用機械

国が管理する国道５路線 約201km[※1]に除雪車92台[※2]を配備しています。常時2車線以上の確保を目指し、国道の除雪にあたります。

※1　国道8号・157号・159号・160号・470号の5路線。
　　なお、国道157号は金沢市青草町～白山市白山町まで、
　　国道470号は　能越自動車道のと里山空港IC～穴水IC、
　　七尾IC～富山県境区間

※2　令和3年3月31日現在

除雪グレーダー

凍結防止剤散布車

TEC-FORCE ※（緊急災害対策派遣隊）

※Technical Emergency Control Force : テックフォース

- 地震・水害・土砂災害等から国民の生命と財産を守ることは国の基本的責務
- 地球温暖化等による災害リスクの増大に対し、人員・機材の派遣体制等の充実を図り、危機管理体制を強化

→

- 全国の職員等が国土交通省の総合調整により活動
- 国が主体的に緊急調査を実施
- 地方公共団体と連携して必要な緊急応急対策を実施

被災状況の迅速な把握
社会基盤施設の早期復旧
二次災害の防止
その他災害応急対策

→

- 先遣班
- 被災自治体支援班（リエゾン）
- 現地活動調整班
- 情報通信班
- 高度技術指導班
- 被災状況調査班（ヘリ調査）
- 被災状況調査班（現地調査）
- 応急対策班

活動状況

東日本の広い範囲における記録的な大雨により、信濃川など多数の河川が氾濫し、甚大な被害が発生した台風 19 号「令和元年東日本台風」の災害支援のため、金沢河川国道事務所からも TEC-FORCE（河川調査班や排水ポンプ班等）として職員 15 名を派遣し、長野県内において活動を実施しました。

河川調査班による被災調査（長野県佐久市）

排水ポンプ班による排水作業（長野県小布施町）

災害申請班の活動状況（長野市）

リエゾン派遣（長野県上田市）

バイク調査隊

地震等による災害発生時には道路の損傷被害や渋滞の発生により四輪のパトロールカーでは移動が難しく、迅速な被害状況の把握が困難となります。

そこで、事務所職員により「バイク調査隊」を編成し、機動的に広範囲にわたって被害状況の調査を行います。

平成 19 年能登半島地震

活力・成長力

地域の交流・連携の基盤となる道路ネットワーク

地域の活力・成長力の礎となる道づくり

当事務所では、県内の経済活動や生活環境の礎となる道路ネットワーク整備を進め、重要港湾である金沢港を中心とした物流活動や、北陸新幹線開業効果を県全域に波及させるための周遊観光の促進に貢献します。

港湾機能の強化が進む金沢港
（金沢港クルーズターミナル）

多くの人で賑わう青柏祭（七尾市）

「ダブルラダー輝きの美知（みち）」構想

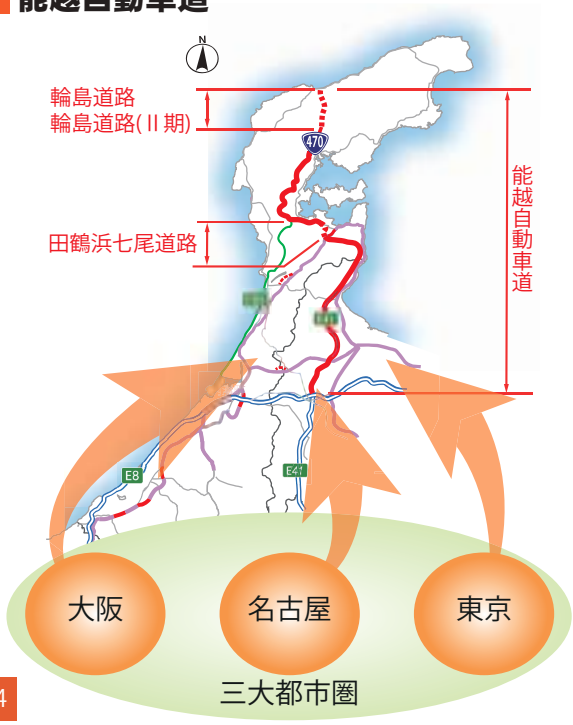
「ダブルラダー輝きの美知（みち）」構想

石川県では、広域幹線道路整備の基本方針として「ダブルラダー輝きの美知（みち）」構想が策定されています。

当事務所では、この構想を後押しするため、国民・県民生活の安全安心の確保、真に必要な社会資本の着実な実施、持続可能で活力のある国土・地域づくり等、当面する課題に対応する事業に重点を置きながら推進していきます。

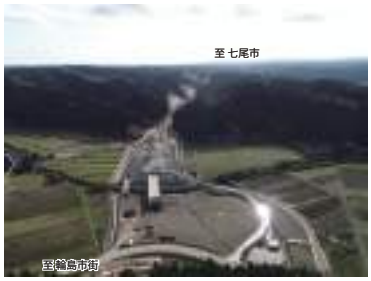
能登と三大都市圏（東京・大阪・名古屋）を結ぶ

能越自動車道



国道 470 号能越自動車道は、石川県輪島市を起点に同県七尾市を経由し、富山県砺波市に至る、延長約 100km の高規格幹線道路です。

能登半島へのアクセス向上や、災害に強く、安全で信頼性の高い道路ネットワークを形成することで、物流の活性化、観光圏域の拡大や沿道地域の連携強化を支援します。また、国土幹線軸を構成する北陸自動車道及び東海北陸自動車道と接続し、能登地域と東京・大阪・名古屋を中心とする三大都市圏との交流を促進します。



輪島道路 三井IC(仮称)付近

田鶴浜七尾道路

金沢都市圏の環状道路ネットワークの構築

石川県内でも交通が集中する金沢都市圏では、慢性的な渋滞や交通事故多発などの交通課題が発生しています。

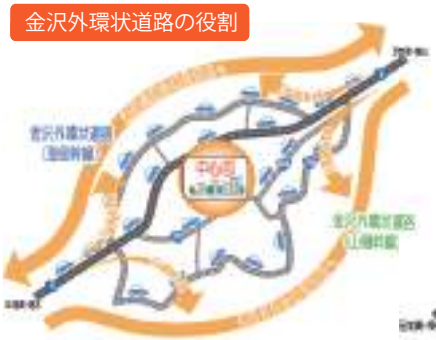
環状道路の機能強化を図ることで、国道８号や中心市街地へ向けた交通の分散を促し、交通環境の改善や金沢中心部のまちづくり（公共交通の充実、自転車・歩行者優先）を実現します。

国道８号　福久地区の混雑状況

国道 157 号　片町地区
中心市街地の混雑状況

金沢都市圏の環状道路ネットワーク

金沢外環状道路の役割

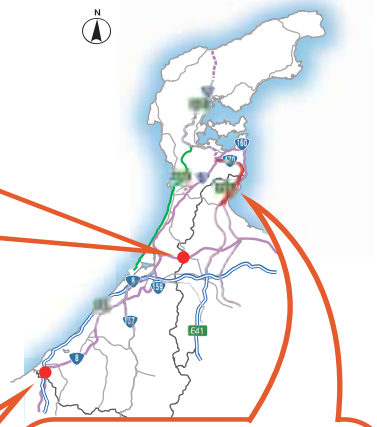


通過交通の迂回イメージ

中心部への分散導入イメージ

幹線道路の防災課題の解決

大雨や大雪などの防災上の課題により、大規模な車両滞留や長時間の通行止めを引き起こす恐れのある路線区間において、災害に強く信頼性の高い道路交通を確保します。



・国道8号 倶利伽羅防災

国道８号の大雨による事前通行規制区間の回避及びトンネルの幅員狭小による事故危険区間の解消を目的とした道路整備事業です。

国道８号 くりからトンネル
大雨による通行止め（石川県側）

・国道8号 牛ノ谷道路

国道８号の事前通行規制区間の解消等により信頼性の高い幹線道路ネットワークの確保を目的とした道路整備事業です。

国道８号 H30 年２月豪雪時の様子
（福井県あわら市中川）

・能越自動車道 七尾氷見道路

国道 160 号 越波による通行規制
（石川県七尾市大泊）

能登、金沢、加賀地域の道づくり

能登地域

・能越自動車道 輪島道路、輪島道路(Ⅱ期)

輪島市杉平町の輪島 IC（仮称）から同市三井町洲衛ののと里山空港 IC に至る、延長 11.5km の事業です。

令和 3 年度は、輪島 IC（仮称）～三井 IC（仮称）間で、道路設計、用地買収、改良工事及びトンネル工事を推進します。三井 IC（仮称）～のと里山空港 IC 間は、改良及び橋梁工事を推進します。

・能越自動車道 田鶴浜七尾道路

七尾市赤浦町の病院西 IC（仮称）から同市千野町の七尾 IC に至る、延長 3.4km の事業です。

令和 3 年度は、道路設計、用地買収及び改良工事を推進します。

・国道159号 羽咋道路

渋滞・事故の低減及びのと里山海道へのアクセス向上を目的としたバイパス事業です。

令和 3 年度は道路設計、用地買収及び改良工事を推進します。

加賀地域

・国道8号 小松バイパス

交通混雑の緩和、交通事故の低減を図るバイパス 4 車線化事業です。

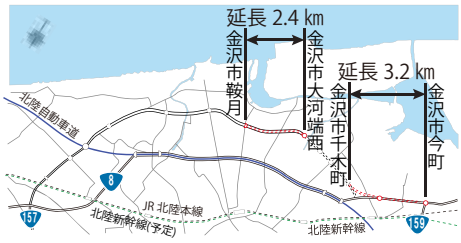
令和 3 年度は千代・能美 IC ～八幡 IC 間の舗装工事及び橋梁上部工事を推進します。

金沢地域

・国道8号 海側幹線（今町～鞍月）

海側幹線の本線整備により、金沢都市圏における円滑な交通ネットワークの形成や安全性の向上、物流効率化による地域経済活動の効率化などを目的とした道路整備事業です。

令和３年度は道路設計を推進します。



・国道159号 金沢東部環状道路

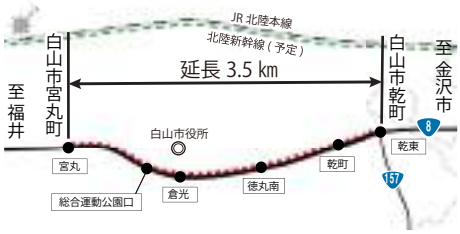
金沢市中心部の交通混雑の緩和、北陸自動車道やのと里山海道と連携する広域的な道路ネットワークの形成を目的とした事業です。

令和３年度は金沢市月浦町～同市神谷内町間のトンネル工事及び舗装工事を推進します。

・国道8号 松任拡幅

国道８号を拡幅整備することで、主要渋滞箇所が連続する渋滞区間の解消と安全性の向上などを目的とした道路整備事業です。

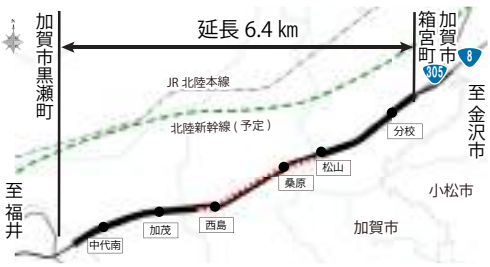
令和３年度は道路設計を推進します。



・国道8号 加賀拡幅

交通混雑の緩和と主要幹線道路のネットワーク強化を目的とした現道拡幅事業です。

令和３年度は加賀市松山町～同市加茂町間の埋蔵文化財調査及び改良工事を推進します。

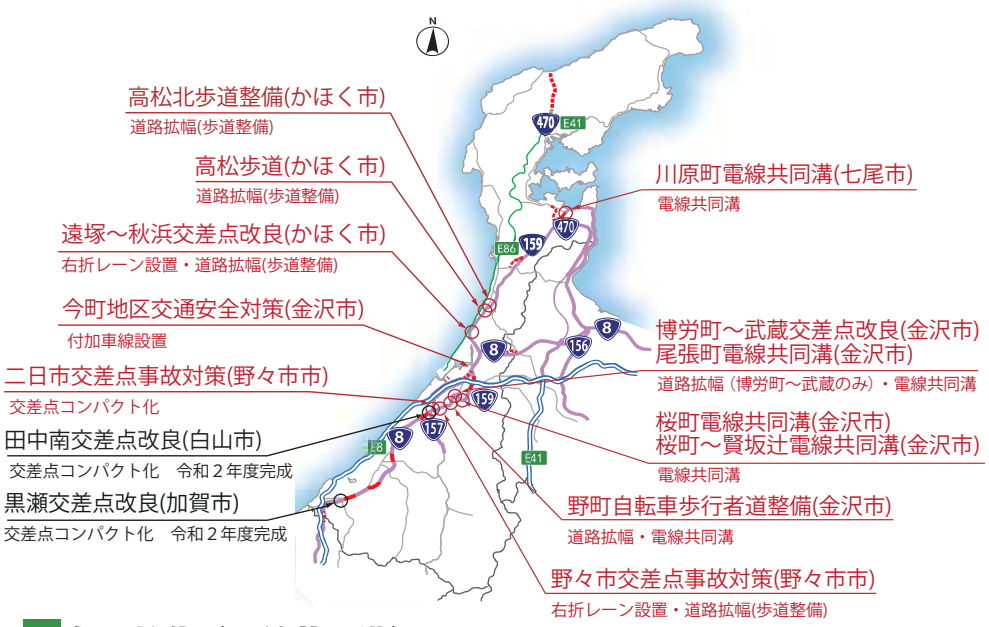


暮らし・環境

安全・安心な道路をめざして　ー交通安全対策・無電柱化ー

交通安全対策

歩道整備、交差点改良及び道路標識、路面標示、道路照明、防護柵等の交通安全施設の整備により、安全・安心な道路交通環境の形成、事故防止対策を実施しています。



国道157号野町自転車歩行者道整備
（部分供用箇所）

無電柱化（電線共同溝）

「無電柱化」とは、道路の地下空間を活用して、電力線や通信線などをまとめて収容する電線共同溝等の整備による電線類地中化や、表通りから見えないように配線する裏配線等により、道路から電柱をなくすことです。

下記の３つの観点から推進しています。

「安全・快適」・・・無電柱化により歩道の有効幅員を広げることで、通行空間の安全性・快適性を確保

「防災」・・・・・・大規模災害（地震、竜巻、台風等）が起きた際に、電柱等が倒壊することによる道路寸断の防止

「景観・観光」・・・景観の阻害要因となる電柱・電線をなくし、良好な景観を形成

電線が地中化された電線共同溝
整備完了箇所（金沢市橋場町）

交通安全の確保に向けた取組

■生活道路の交通安全対策

地域ニーズや、ビックデータ等に基づき抽出したエリアにおいて、国、自治体、地域住民等が連携し、徹底した通過交通の排除や車両速度の抑制等のゾーン対策に取り組み、子供や高齢者等が安心して通行できる道路空間の確保を目指します。

生活道路対策メニュー

■通学路の交通安全対策

警察、教育委員会、学校、道路管理者等が連携し、定期的に合同点検を実施し、ハード・ソフトの両面から必要な対策を推進しています。

通学路安全推進協議会

通学路合同点検

「道の駅」

「道の駅」は、安全で快適に道路を利用するための道路交通環境の提供と、地域のにぎわい創出を目的とした施設で、「地域とともにつくる個性豊かなにぎわいの場」を基本コンセプトにしており、石川県内では26駅が登録されています。

今後は、「道の駅」におけるインバウンド観光への取組みや子育て応援施設の整備、災害時には防災拠点として整備活用できるよう、各関係機関と連携しながら進めていきます。

道の駅「めぐみ白山」

24時間利用可能なベビーコーナー

かまどベンチ

「道の駅」3つの機能

休憩機能	24時間無料で利用できる駐車場、トイレ
情報発信機能	道路情報、観光情報、緊急医療情報などを提供
地域の連携機能	文化教養施設、観光レクリエーション施設などの地域振興施設

- 地域防災計画に位置づけられた「道の駅」は、災害時に支援基地等の機能を発現
- 乳幼児に対する授乳やおむつ交換が可能なスペースを備え、子育て応援施設としての機能を発現

自転車利用環境の整備

金沢自転車ネットワーク協議会

有識者、道路管理者、警察により構成され、面的に連続した自転車利用環境の整備により、歩行者・自転車・自動車のそれぞれが、安全かつ安心して通行できる道路空間の創出を目指します。

金沢での連携と協働で歩んだ10年の軌跡（取り組み）を踏まえ、今後の自転車利用環境の改善に向けた様々な取組を推進していきます。

道路管理者及び警察の連携体制と主な取組事例

「連携と協働で歩んだ10年の軌跡」（H31.3　作成）

※金沢自転車ネットワーク協議会のホームページからダウンロードできます

金沢自転車ネットワーク協議会　検索

水辺環境づくり

河川の水辺環境調査

国土交通省では、河川の環境を調査する目的で、毎年「河川水辺の国勢調査」を実施しています※。また、川にすむ生き物を採取し、その種類を調べることによって、水質を判定する水生生物調査をしています。

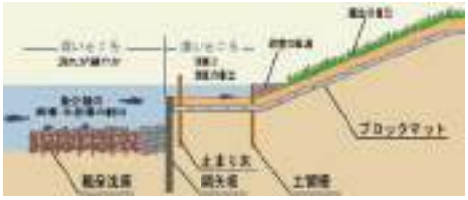
調査の結果、手取川・梯川では多くの種類の動植物が生息する良好な河川環境であることが分かりました。

児童と一緒に水生生物調査を実施

※ 調査結果は以下のURLからご覧頂けます。https://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/river/census/index.html

多自然川づくり

手取川・梯川では、生物の良好な生息環境や美しい自然景観に配慮した川づくりに取り組んでいます。



多自然川づくりのイメージ図（梯川）

インフラツーリズム（梯川分水路）・水辺の賑わい創出

梯川分水路は、洪水を安全に流すことと国の重要文化財である小松天満宮神門および本殿を現位置に保存するために、全国でも珍しい「分水路方式」を採用した河川改修です。浮島となった小松天満宮は地域のシンボルとなっています。

７箇所（★印）に説明看板を設けました。各看板には、分水路に関する説明や梯川の内容などを動画にて説明しています。

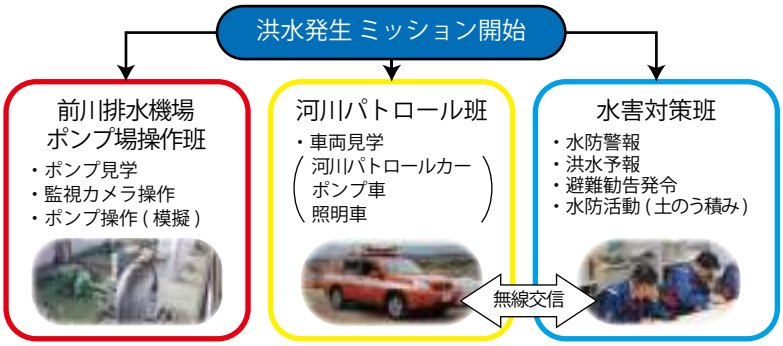
説明看板には二次元コードが付いており、スマートフォンなどで読み込むと動画による説明を視聴できます。

梯川手づくり学習館　洪水対応のお仕事体験コーナー

梯川手づくり学習館（前川排水機場内）には水害から街を守る国土交通省と小松市の防災の仕事を模擬体験できるコーナーがあります。

ここでは、子供たち（小学生４年生以上）を国土交通省職員（かわこくキッズ）として任命し、梯川で洪水が発生した場合の水害対応（情報伝達、水防活動など）をアトラクション感覚で体験することができます。

※ 現在、コロナウイルス感染拡大防止対策として、体験内容を一部変更し完全予約制で実施しております。



子どもたちは３班に分かれて、洪水時に働く人たちの仕事を体験します。役割分担や連携で洪水時のチームワークの大切さを学びます。

前川排水機場操作を模擬体験

ミッションボードで仕事を体験

ミニ土のうを積んで水防体験

VSP（ボランティア・サポート・プログラム）

道路の美化清掃等に取り組む地域団体や企業を支援しています。
当事務所では、令和３年３月現在、36 団体が登録し、歩道清掃・植樹帯の管理･歩道除雪等を行っています。また､そのうち27 団体がボランティア・サポート・プログラム（VSP）を利用し、団体・国・市の三者間で協定を締結して活動しています。

国道沿線で花を植える活動団体

協力団体制度（河川・海岸・道路）

河川・海岸や道路における環境保全の取り組み等の身近な課題の解消や各利用者のニーズへのきめ細やかな対応等に自発的に取り組む民間団体を「協力団体」として北陸地方整備局長が指定し、その活動を支援しています。
当事務所では令和３年３月現在、河川協力団体、海岸協力団体、道路協力団体が合わせて４団体指定されています。

犀川大橋ブルーライトアップ

石川海岸で清掃する活動団体

国道沿線で歩道を清掃する活動団体

梯川で清掃する活動団体

現場見学会

地域の方々や学生の皆さんに河川や道路等の社会資本整備の工事現場を実際にみてもらうことにより、事業の必要性や建設業の魅力を理解していただくことを目的として、現場見学会を開催しています。

現場見学会の様子

白山砂防女性特派員

白山は豊かな自然を有しています。
しかしその反面、土砂災害発生の危険も有するため、県民の皆さんに白山下流域を守る砂防の必要性を学習し、情報発信していただくことを目的として、参加者を募り活動を行っています。

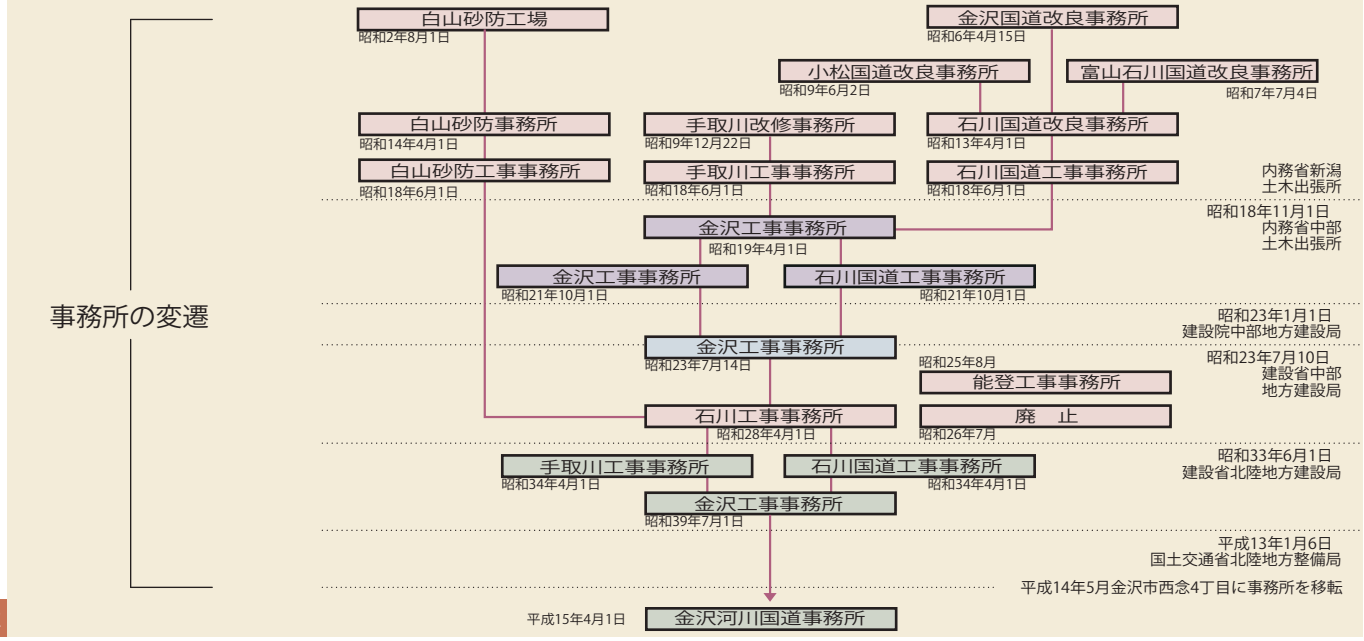
特派員による情報発信

現場視察（赤岩２号砂防堰堤）

データベース

年度	略　史
昭和39年度	8号一次改築全線完了
昭和40年度	手取川支派川安産川樋管完成
昭和43年度	8号金沢バイパス、石川郡野々市町三日市～松任市宮丸開通
昭和46年度	手取川水衝部護岸ほぼ完了 金石高架橋供用開始
昭和47年度	金沢バイパス全線開通（暫定2車線）
昭和48年度	金沢バイパス松任地区4車線概成
昭和50年度	金沢バイパス4車線概成／宇ノ気道路4車線完成 白峰バイパス完成
昭和51年度	手取川大橋2車線完成／美川水門完成
昭和52年度	武蔵地下横断歩道完成
昭和53年度	金沢西バイパス部分開通（手取川左岸まで） 津幡バイパス暫定供用開始／金沢バイパス4車線完成
昭和54年度	157号（権限代行）一次改築完了／手取川ダム完成
昭和55年度	金沢西バイパス（能美郡根上町赤井～同町五間堂）、 鶴来バイパス（石川郡鶴来町井ノ口～同町明島町）開通
昭和56年度	安産川排水機場完成 金沢西バイパス（能美郡根上町五間堂～小松市高堂）開通
昭和57年度	金沢西バイパス全線開通（延長8.57km 2車線）
昭和58年度	鶴来バイパス部分開通（延長1.4km 2車線、石川郡鶴来町安養寺～同町知気寺） 鹿島バイパス部分開通（延長2.6km、鹿島郡鳥屋町黒氏～鹿島町小竹）
昭和59年度	押水バイパス部分開通（延長1.8km、押水町南吉田～同町上田出）
昭和60年度	南郷拡幅部分開通（延長1.2km、加賀市南郷町～同市細坪町） 鹿島バイパス部分開通（延長5.0km、七尾市下町～鹿島郡鳥屋町黒氏）
昭和61年度	小松バイパス部分開通（延長2.2km、小松市八幡～同市東山町） 鹿島バイパス部分開通（延長0.7km、七尾市八幡町～同市下町） 香林坊地下横断歩道完成
昭和62年度	津幡バイパス部分開通（延長1.7km） 二万堂拡幅（延長0.4km）開通 押水バイパス部分開通（延長1.5km、押水町上田出～同町坪山）
昭和63年度	甚之助谷地すべり災害関連緊急事業竣工式 離岸堤100基完成／鶴来・鹿島バイパス部分開通（延長1.3km、 鹿島郡鹿島町小竹～同町久江）
平成元年度	金沢西バイパス4車化部分開通（延長1.9km、能美郡川北町字橋～ 南郷拡幅4車線化部分開通（延長1.2km、加賀市南郷町～同市細坪町） 同町朝日）
平成 2 年度	倶利伽羅・小松・押水バイパス等6ヶ所開通（延長15.8km） 松島北交差点立体化（山側）開通
平成 4 年度	小松バイパス部分開通（延長3.7km、小松市津波倉町～加賀市箱宮町） 及び鶴来バイパス全線開通
平成 5 年度	白江大橋完成／白鳥橋の架替供用
平成 6 年度	梯大橋完成／犀川大橋補修完成 金沢バイパス田中交差点（山側）・松島北交差点（海側）立体化部分開通
平成 7 年度	金沢バイパス松島北交差点（海側）立体化完成 鹿島バイパス部分開通（延長1.5km、鹿島郡鹿島町久江～同町高畠）

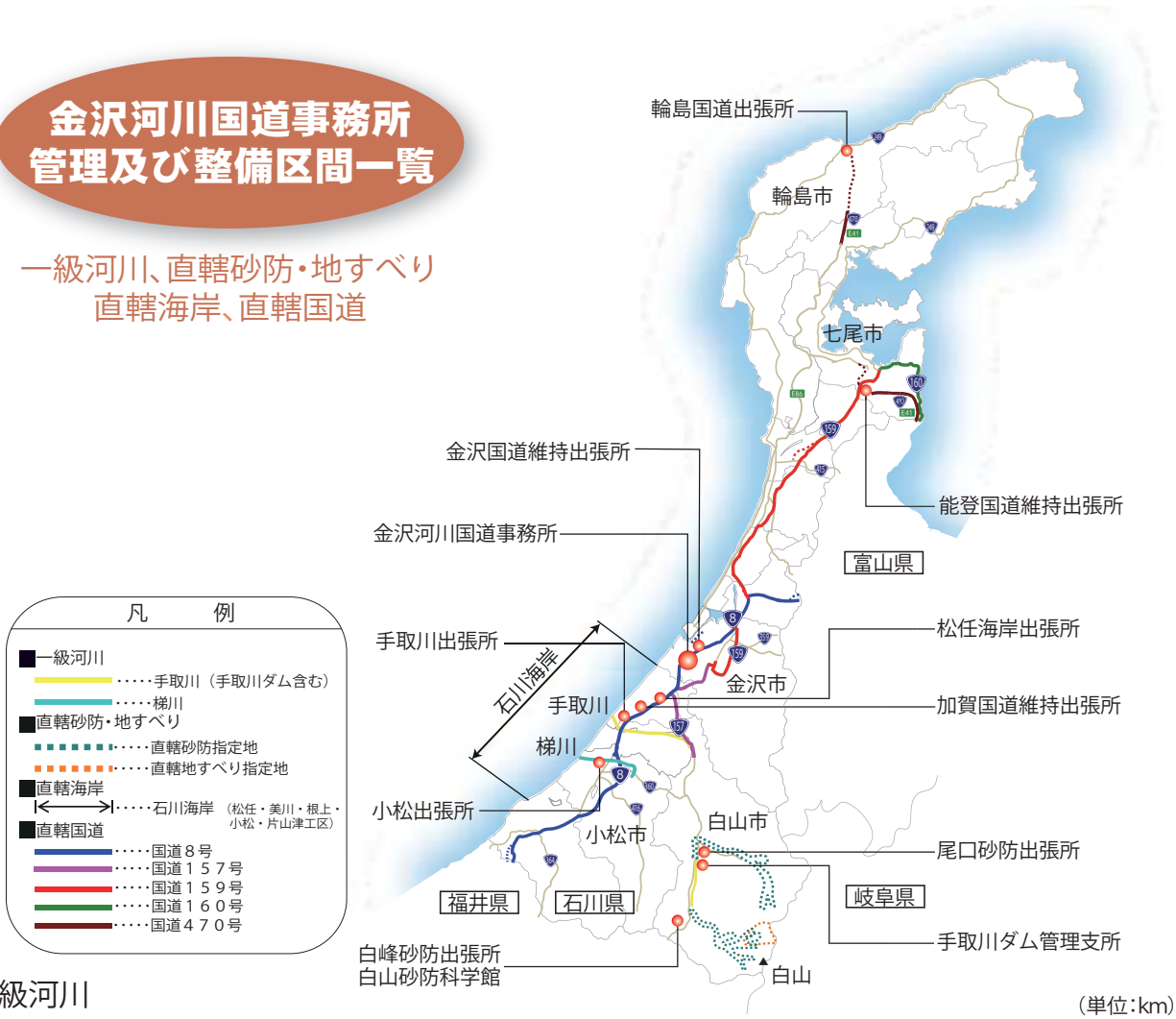
年度	略　史
平成 8 年度	金沢バイパス田中交差点（海側）立体化完成
平成 9 年度	小松バイパス部分開通（延長1.3km、小松市佐々木町～同市八幡）
平成10年度	津幡北バイパス部分開通(延長1.7km、津幡町倉見～同町庄)
平成11年度	フォルテ地下道（太平寺地下道）供用／小松除雪ステーション供用 歴史国道「倶利伽羅源平の郷・竹橋口」開所
平成12年度	前川排水機場完成
平成13年度	白山砂防（SABO）科学館開館／鹿島バイパス全線開通 金沢東部環状道路部分開通（延長1.3km、金沢市今町～同市梅田町） むさしクロスピア改修完成
平成14年度	松任～寺井間4車線化・小松バイパス全線開通／石田橋完成 金沢東部環状道路部分開通（延長2.4km、金沢市東長江町～同市鈴見台）
平成15年度	月浦白尾I.C連絡道路・津幡バイパス全線開通 金沢東部環状道路部分開通（延長2.1km、金沢市梅田町～同市月浦町）
平成16年度	西念交差点立体化、諸江～南新保6車線化完成
平成17年度	津幡北バイパス部分開通（延長0.5km、津幡町加茂～舟橋）
平成18年度	金沢東部環状道路全線開通／穴水道路全線開通 津幡北バイパス部分開通（延長1.7km、津幡町庄～加茂） 梯川手づくり学習館開設
平成19年度	柳谷上流砂防堰堤群完成 尾添川第2号砂防堰堤完成 津幡北バイパス全線開通（延長1.9km、津幡町刈安～倉見）
平成20年度	示野町地区6車線化開通（延長1.3km、金沢市藤江町～示野町） 武蔵地区歩道拡幅（延長0.2km、金沢市青草町～下堤町） 犀川大橋補修完成
平成21年度	159号津幡バイパス4車線化開通（かほく市内日角～津幡町舟橋） 8号南郷拡幅完成（延長4.7km加賀市細坪町～熊坂町）
平成22年度	8号加賀拡幅部分開通(延長2.0km、加賀市箱宮町～松山町)
平成24年度	金沢東部環状道路4車線化部分開通(延長2.4km、金沢市東長江町～ ～同市鈴見台) 小松バイパス4車線化部分開通(延長2.2km、小松市八幡～同市東山町) 七尾氷見道路部分開通(延長9.3km、七尾市矢田町～同市大泊町)
平成25年度	瀬戸砂防堰堤(改築)完成 河内谷砂防堰堤(改築)完成
平成26年度	小松バイパス4車線化部分開通(延長5.1km、小松市東山町～同市津波倉町) 七尾氷見道路全線開通(延長3.2km、七尾市千野町～同市矢田町) (延長1.1km、七尾市大泊町～石川富山県境) 七尾バイパス部分開通(延長2.7km、七尾市古府町～同市下町) 8号加賀拡幅部分開通(延長1.9km、加賀市加茂町～同市黒瀬町)
平成27年度	8号加賀拡幅部分開通(延長0.3km、 加賀市西島～加茂町)
平成28年度	桑島裏谷土石流対策施設完成
平成29年度	梯川分水路完成 金沢東部環状道路4車線化部分開通(延長1.8km、金沢市神谷内～ 同市東長江)
平成30年度	小松バイパス4車線化部分開通(延長1.1km、能美市大長野町～同市小杉町)
令和 2 年度	小松バイパス4車線化部分開通(延長1.3km、能美市小杉町～小松市能美町)



データベース

金沢河川国道事務所 管理及び整備区間一覧

一級河川、直轄砂防・地すべり
直轄海岸、直轄国道



一級河川

（単位：km）

河川名＼担当出張所	手取川出張所	手取川ダム管理支所	小松出張所
手取川（手取川ダム区間含む）	17.3	20.0（支川含む）	―
梯川	―	―	12.2

直轄砂防・地すべり

（箇所）

直轄砂防指定地	流域名	牛首川					
	河川名	牛首川	甚之助谷	別当谷	柳谷	赤谷	湯ノ谷
	流域名	尾添川					
	河川名	尾添川	オメナシ沢	蛇谷	中ノ川	湯谷	
直轄地すべり指定地	流域名	牛首川					
	河川名	甚之助谷					

直轄海岸

（単位：m）

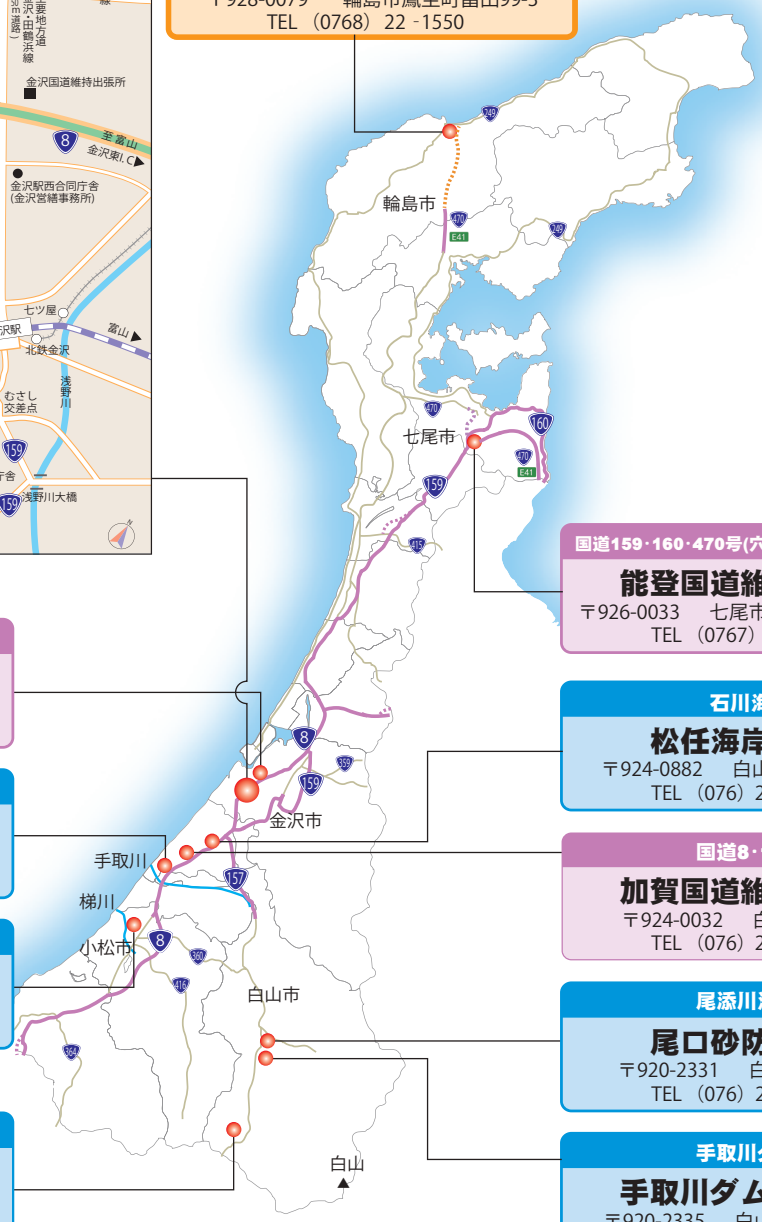
直轄海岸施行区域	松任工区	美川工区	根上工区	小松工区	片山津工区	合計
区域延長	4,758	2,805	2,090	5,540	2,325	17,518

直轄国道

（単位：km）

路線名＼担当出張所	加賀国道維持出張所	能登国道維持出張所	金沢国道維持出張所	合計
国道８号	49	―	29	78
国道157号	16	―	5	21
国道159号	―	48	15	63
国道160号	―	19	―	19
国道470号	―	20	―	20
合計	65	87	49	201

国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所



国道470号(輪島道路)

輪島国道出張所
〒928-0079　輪島市鳳至町畠田99-3
TEL（0768）22 -1550

国道159・160・470号(穴水道路・七尾氷見道路)

能登国道維持出張所
〒926-0033　七尾市千野町に部28番地
TEL（0767）57 -0778

国道8・157・159号

金沢国道維持出張所
〒920-0064　金沢市南新保町ト103- 3
TEL（076）238 -5071

石川海岸

松任海岸出張所
〒924-0882　白山市八ツ矢町554
TEL（076）275 -0982

手取川

手取川出張所
〒929-0235　白山市美川永代町甲54
TEL（076）278 -2152

国道8・157号

加賀国道維持出張所
〒924-0032　白山市村井町 3
TEL（076）276 -0797

梯川

小松出張所
〒923-0002　小松市小島町ヲ27- 2
TEL（0761）23 -4000

尾添川流域

尾口砂防出張所
〒920-2331　白山市瀬戸ワ21
TEL（076）256 -7004

牛首川流域

白峰砂防出張所
〒920-2501　白山市白峰ツ40番地 1
TEL（076）259 -2890

手取川ダム

手取川ダム管理支所
〒920-2335　白山市女原ソ18- 1
TEL（076）256 -7310

白山に学ぶ砂防と防災情報に関して

白山砂防科学館
TEL（076）259 -2990

令和３年度 金沢河川国道事務所 事業概要　～石川の礎を築く～

● 発行／国土交通省北陸地方整備局金沢河川国道事務所
〒920-8648　金沢市西念４丁目23番５号
（076）264-8800　（代表）

総　務　課	(076)264-8803	工務第一課	(076)264-8547
経　理　課	(076)264-8853	工務第二課	(076)264-8575
用地第一課	(076)264-8894	品質確保課	(076)264-8579
用地第二課	(076)264-8523	調査第一課	(076)264-9910
調査第二課	(076)264-9912	道路管理第一課	(076)264-9917
流域対策課	(076)264-9913	道路管理第二課	(076)264-9918
海　岸　課	(076)264-9915	防　災　課	(076)264-9921
河川管理課	(076)264-9916		

https://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/

■ご意見・ご感想をお待ちしています。お電話またはホームページからどうぞ。